



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLYBULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

行動に信念を 信念は行動に



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)

例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015

事務所 〒880-02 佐土原町大字下田島9883番地1
TEL 0985-73-0015

BELIEVE IN WHAT YOU DO Do WHAT YOU BELIEVE IN

1994. 3. 18 (金) 第309回例会

1. 点 鐘
2. ロータリーソング「手に手つないで」
3. 食 事
4. 会長の時間
5. 幹事報告
6. 各委員会報告
7. 会員卓話 佐野 保君
8. 点 鐘

第308回例会記録 (1994. 3. 11)

会長の時間 代理 副委員長 児玉武文
皆さん今晚は、本日は第308回例会です。
正岡会長が所用のため出席できませんので、私が代行をさせていただきます。

一雨ごとに暖くなるような感じがします。
正月をこの前迎えたというのに、早くも三月も中旬に入ろうとしています。正に「光陰矢の如し」ですね。三月と言えば、今日から座論梅で女子トーナメントゴルフが始まりました。宮崎はゴルフ天国であると宮崎日日新聞に書いてありましたが、女子オープン、ハイビスカスでのシニア大会、ダンロップトーナメント、岡本綾子の参加した日東青島ゴルフクラブでの大会と、1年に4回も大きなゴルフ大会が開催されるのは、他の県では見られないことであります。

これはやはり宮崎が暖かいということが大きな要因であると考えられます。そしてまた、

受け入れる素地ができてきたのも背景にあると思います。

ところでこの度は、いろいろな特技を持っておられる多才な方のご入会で、クラブの活性化に有形無形の大きなご貢献をいただいております。今後とも“五輝星”として、ますますご活躍くださいますようお願い申し上げます。

昨年の暮れの新聞に、「洋服は心に着せるもの」という題で、ファッションコーディネーターの随筆が掲載されていました。

この人は前にデパートのファッションコーディネーターをしていましたが、世の中がだんだん豊かになって、着る物が皆に行き渡ると、ファッション業界は行き詰まるのではないかと、従って自分たちの仕事は無くなるのではないかと、危惧していたそうです。

ところが一向にそういうことは起こらない、仕事も減らない、そこで、なぜだろうとコーディネーターとして考えてみたそうです。人間は一体何に服を着せるのであろうかと。

突き詰めて考えてみると、心に着せるのではないかと、即ち、世の中が変わると人も心の変化を求めて、昨日の自分でない今日の自分に、今日の自分でない明日の自分に、ということ、その心に服を着せるのではなかろうか、という思いに至ったそうです。

「人生には、大きく成長し変化のある時期もあれば、静かに内で力を蓄える時もある。大切なことは、洋服を着替えたと思うほどの、好奇心に富んだエネルギーのある毎日

を生きることではなかろうか。服を心に着せるように、服はまた、着ている人の心意気を語るものである。」と言っております。

また「男性は多くの方が似たような服を着ているので、一人一人の人生観やおしゃれへの気持が特に服から見えてくる。ダンディを目指し、より生き生きとした毎を送るには、心を整えることが大切である。」次に、「ボディの体型や身長よりも、姿勢で洋服は着るものだと自覚して欲しい。おしゃれはデザインやブランドの問題ではないのである。」と結んでいます。私も、背筋を伸ばして、前向きに生活して行きたいものだと感じさせられました。

幹事報告 池田仁志

1. 「行動に信念を 信念は行動に」と「四つのテスト」の文字入りのボールペンの見本が送って来ました。1本200円です。ご希望の方は幹事へご連絡ください。

2. 例会変更通知

- * 延岡東RC 3月21日は休会
- ” 3月28日 18:30
延岡市内 今山大師寺
- * 宮崎南RC 3月21日は休会
- ” 3月28日 18:30
ホテル・プラザ宮崎
- * 日向中央RC 3月 9日 12:30
日向市内 米の山
- ” 3月16日 18:30
はまぐり荘
- * 日向RC 3月28日 12:30
忠霊塔 (観桜会)

出席報告 委員長 神宮寺 利夫

会 員 数	21名
欠 席 者 数	5名
H C 出席者数	16名
メイクアップ者数	2名
出 席 率	85.7%
欠 席 者 名	郡司・斉藤・井下

親睦委員会より 副委員長 森田 邦宏
3月17日(木)の佐土原クラブ・ゴルフコンペ参加者は、会員12名と福井君の友人に特

別に参加していただき、計4組となりました。表彰式は3月18日の例会で行います。それから、宮崎市郡6RC合同ゴルフコンペの案内が来ています。5月19日(木)にカントリークラブ青島コースで開催されます。各RCから5名参加となっていますので、今回の成績を見てご相談したいと思います。

新会員卓話 福井輝文

「福井」姓は珍しいのではないかと思います。町内の福井家は殆ど親戚になります。父の先祖は徳島県から来ています。初代は現在の田島地区に住居を定め、田島・天神・佐賀利一帯で甘蔗を栽培し、砂糖の製造販売をしていたそうです。私で五代目になります。母方は香川県から旧佐土原地区に転住して、酒屋を営んでおりました。

父は次男ですが、小学校を卒業すると直ぐに鹿児島市内の家具製作所に勤め、職人としての腕を磨いたということです。同市内の山形屋本店の娘さんが結婚された時には、父が嫁入り家具一式を作って納めたそうです。

父は飲み方が好きで、友達を招いてはよく飲み、よくしゃべっていました。そんな時に口癖のように、長男(私)は大工にするのじゃ、次男は設計か土木技術者にするのじゃ、と言っていたのを幼な心にも覚えていました。

宮崎実業高校を卒業して、社会人となり、24歳を迎えた頃、父の勧めで嫁をもらうことになりました。ところが挙式の直前に、急に父が入院することになりました。心筋梗塞で左半身が動かなくなったのです。それで結婚式を2か月延ばし、新婚旅行もえびの高原一泊に変更し、帰ると直ぐに仕事という状態でした。丁度その時は昭和49年のオイルショックの頃で、仕事がない時期でしたので、4~5名いた職人も一人辞め、二人辞めて、最後は自分一人になってしまいました。

当時、職人として働けば、月収8万円ぐらいにはなりましたが、父の入院費が週に3万円は要りましたので、人に使われては借金を払うこともできない、どうしたらいいのだろうかと独り悩みました。挫折感もありました。遂に仲人に相談に行ったのです。(続)